

音楽教育専修 器楽(管弦打)分野 研究室のご紹介 教員:崎山 弥生

教員についての基本情報

教員名	崎山 弥生 准教授 (SAKIYAMA Yayoi)
担当教科と分野	音楽 器楽(管弦打楽器)
研究分野	器楽, 演奏学
担当授業	スタートアップ音楽, 管弦打, 合奏, アンサンブル, 音楽科教材研究, 音楽科教育法 B, 音楽(小学校), 教職実践演習, 卒業研究など
授業についての一言	実技(演奏)系の授業では, 単に演奏の技術を高めるだけではなく, 大学で学んだ音楽を社会でどう生かすかということを考えていきます。 「教材研究」や「教育法」では, 小学校から中学校へ学びの繋がりを意識し, 「スタートアップ音楽」では, 管弦打楽器についての導入と, 著作権についても学んでいきます。
研究者データベース	https://kenkyushadb.lab.u-ryukyu.ac.jp/html/100000081_ja.html



研究の内容

楽器演奏の技術力や表現力の向上, フォームや奏法, 指導法の研究を軸としながら, 楽曲の成立した時代, 社会や文化の背景などを考慮した研究をしています。また, 小中学校の音楽科授業における「器楽活動」を通じた指導内容についても研究を行っています。

これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

卒業演奏会で演奏する楽曲の作曲家について調べ, その作曲家が生きた時代背景を知った上で, 楽曲分析と奏法に関する研究を行います。そしてそこから得たものを, 教育の場面でどのように生かしていくのかを考えていきます。

以下は卒業研究の一例です。

- ・「ヴァイオリン・ソナタにおける演奏と解釈-ヴァイオリンとピアノ伴奏の関係性からの考察-」
- ・「W.A.モーツァルト《クラリネット協奏曲 イ長調 KV622》より第1楽章に於ける演奏と解釈」
- ・「J.イベール《フルート協奏曲》に於ける解釈」
- ・「J.ライネッケ《フルートとピアノのためのソナタ「ウンディーネ」Op.167》に於ける楽曲と物語との関係性についての考察」など

卒業演奏会の様子



研究のキーワード

器楽(管弦打楽器), 演奏法, 音楽科授業における「器楽活動」など

研究室の様子

音楽教育専修では, 卒業研究に「論文研究」と「演奏研究」があり, この研究室では「演奏研究」を行っています。研究する楽曲は, 主に学生の希望を反映させながら相談して決められ, 各々指導を受けながら研究を進めていきます。学部の3年生から研究したいテーマや楽曲を絞っていき, 4年生になると構想発表会と中間発表会で, 楽曲や奏法についての研究を口頭で発表し, 最終発表となる「卒業演奏会」では実際に演奏します。その後, 演奏を通して得られたことをまとめて提出します。